

令和7年9月1日

保護者の皆様

金沢市立額中学校
校長 森中 静恵

家庭における災害への備えについて

日頃より、本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

本校では、夏季休業期間中に発生した本県や九州地方の大雨による被害等を踏まえ、学級活動や各教科における授業、集会や避難訓練等の学校行事において、年間計画に基づいた防災教育のさらなる充実を図り、危機回避能力の育成に努めているところです。

つきましては、ご家庭におきましても、以下の内容についてお子様と話し合い、災害に対する備えを十分に行っていただきますようお願いいたします。

ハザードマップの確認

- ・家族でハザードマップを確認し、自宅周辺の危険な場所、避難場所、避難経路を子供と一緒に確認しましょう。
- ・危険な場所には近づかないことを教え、避難場所までの安全なルートを把握しておきましょう。

情報収集方法の確認

- ・インターネット、テレビなどで、最新の気象情報を集める方法を確認しましょう。
「川の防災情報」国土交通省 URL:<https://www.river.go.jp/index>
「高解像度降水ナウキャスト」気象庁
URL:https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#zoom:6/lat:37.753344/lon:138.361816/colordepth:normal/elements:hrpns&slmcs&slmcs_fcst

災害発生時の行動の確認

- ・大雨警報や避難勧告等が出たら、速やかに避難することを家族で確認しましょう。
- ・可能な限り、保護者と一緒に避難することが望ましいですが、それが難しい場合の対応についても話し合しましょう。

避難場所の確認

- ・自宅から近い避難場所だけでなく、学校や公民館などの避難場所も確認しておきましょう。避難場所までの経路も、安全なルートで確認しておきましょう。

災害が発生しやすい危険場所の確認

- ・川や用水路、崖、ため池など、大雨で増水しやすい場所には近づかないように教えましょう。また、側溝やマンホールの蓋が開いている場所にも注意が必要です。

非常用持ち出し袋の準備

- ・万が一に備えて、非常用持ち出し袋をつくり、各家庭で必要なものを中に入れておきましょう。食べ物や水は定期的に消費期限を点検して、いざというとき、すぐ持って出られるようにしておきましょう。